

『七人の侍』と現代



[『七人の侍』と現代 下载链接1](#)

著者:四方田犬彦

出版者:岩波書店

出版时间:2010/06/18

装帧:18cm

isbn:9784004312550

日本映画を代表する名作として、幾重にも栄光の神話に包まれてきた黒澤明の『七人の侍』。

しかし世界のいたるところで、いまなお現代的なテーマとして受容され、その影響を受けた作品の発表が続く。

制作過程や当時の時代状況などを丹念に考察し、映画史における意義、黒澤が込めた意図など、作品の魅力を改めて読み解く。

第1章 黒澤明、ふたたび

第2章 映画ジャンルと化した『七人の侍』

第3章 一九五四年という年

第4章 構想と制作

第5章 時代劇映画と黒澤明

第6章 侍の表象

第7章 百姓、そして菊千代

第8章 敵ははたして敵か？

第9章 敗北と服喪

第10章 栄光の神話と孤立

日本映画を代表する名作として、栄光の神話に包まれている『七人の侍』。しかし世界のいたるところで、いまなお現代的なテーマとして受容されている。制作された時代背景などを考察し、その魅力を改めて読み解く。

作者紹介:

1953年西宮市に生まれる。東京大学人文系大学院博士課程修了。専攻は比較文学・比較文化。コロンビア大学、ボローニャ大学、テルアヴィヴ大学などで客員研究員・教授を転々とし、現在は明治学院大学教授として映画史の教鞭を執る（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録:

[『七人の侍』と現代 下载链接1](#)

标签

黑泽明

日本电影

日本

七武士

评论

第一段关于《七武士》母体和结构的分析很有意思，如果说这样的故事与美国西部片有联系是常识，而同类的结构居然和《汉江怪物》有千丝万缕的联系则是完全的意料之外情理之中。不仅于此更没想到战后自“满洲”引扬所构成的历史记忆居然会渗透进黑泽明的电影甚至《七武士》中。

[『七人の侍』と現代 下载链接1](#)

书评

[『七人の侍』と現代 下载链接1](#)